

# はままつくらしの情報



## いいえっ

パソコンで警告が出たらサポート詐欺に注意！  
— 70歳以上で大幅に増加 —

2024. 5  
編集・発行  
浜松市くらしのセンター  
〒432-8032  
浜松市中央区海老塚町51-1  
【電話相談】  
市民相談 457-2025  
交通事故相談 457-2233  
消費生活相談 457-2205

サポート詐欺とは、パソコンでインターネットを使用中に突然「ウイルスに感染している」等の警告画面や警告音が出て、それらをきっかけに警告画面上に表示されている電話番号に電話をかけさせ、偽のサポートに誘導し、サポート料金を支払わせる手口です。



今月号では、サポート詐欺のトラブル事例と注意点を紹介します。

### ◆ 事例 修理代 100円のはずが・・・

パソコンでインターネットを利用中に突然、大音量の警告音が鳴り「ウイルスに感染した可能性がある」と警告画面が表示された。マイクロソフト社を名乗る電話番号の表示があったので電話をしたところ、外国人らしき人が出て、遠隔操作ソフトをインストールするよう指示され、パソコン内を遠隔操作で見もらった。相手から「最近、銀行の取引をしたか」と聞かれたので、「インターネットバンキングを利用した」と告げると、ログインするよう指示された。パソコンの修理代として100円を請求されたので、インターネットバンキングの画面で送金額を100円と入力したはずが、遠隔操作によって「0(ゼロ)」を追加され、100万円に変更され送金されてしまった。(70歳代)



### ◆ ひとことアドバイス

- パソコン利用中に突然警告画面や警告音が出て、**慌てて画面に表示されている連絡先に電話をしないでください。**
- 警告画面が表示されたり、万が一遠隔ソフトをインストールしてしまっても、ご自身でパソコンの状態を確認しましょう。また、自分で判断できない場合は**周りの人に相談**しましょう。
- 困った時、不安に思った時、トラブルにあった時は、**浜松市くらしのセンター**等に相談しましょう。

(浜松市くらしのセンター：457-2205、消費者ホットライン188)

【参考・引用】発表情報 (2024年3月27日公表) 発行:独立行政法人国民生活センター



### 毎年5月はフェアトレード月間、第2土曜日は世界フェアトレード・デーです

フェアトレードは、適正価格で継続的に取り引きすることで、生産者の自立と環境の改善を目指す取り組みです。この機会に、フェアトレードについて調べてみましょう。

浜松市公式ホームページ(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>)では、フェアトレードの教育教材、啓発資料、マップなど様々な資料を掲載しています。

浜松市は日本で4番目のフェアトレードタウンです。



## エシカルコラム Vol.89 食品ロス



まだ食べられるのに廃棄される食品を食品ロスと言います。国内の年間食品ロス発生量は523万トンと膨大な量です。今月号では、食品ロス削減の必要性と食品ロスの現状について紹介します。

### 食品ロス削減の必要性と食品ロスの現状

#### ◎食品ロス削減の必要性

なぜ食品ロス削減が必要なのでしょう？

一つ目は、環境問題です。食品を生産、運搬、加工、販売、消費、廃棄する過程で多くのエネルギーが使われ、温室効果ガスが発生しています。食べずに廃棄するということはそれらのエネルギーが無駄になり、地球温暖化の一因になっているということです。

二つ目は、食糧問題です。世界の人口は今後も増加し続け、2050年には100億人になると予測されています。しかし、紛争や気候変動などで食糧増産が追いつかないという予想も出ています。現在でも世界で約8億人が飢餓状態にあると言われていた中、食料自給率38%の日本で今後も豊かな食生活が維持できるのでしょうか。今から食品を大切に作る習慣を身に付けておくことが必要ではないでしょうか。

三つ目は、倫理的な問題です。肉、魚、野菜などの食品はいずれも命をいただいて生産されています。私たちの口に入るまでに携わった人々への感謝の気持ちを大切にしたいものです。

#### ◎食品ロスの現状

冒頭で紹介したように、国内で発生している食品ロスは年間523万トン、内訳は事業系279万トン、家庭系244万トン(2021年度)です。これは、国民一人当たり毎日おにぎりを一個捨てている、東京スカイツリーに換算すると約127基分とほぼ同じ重量です。世界との比較では、食品ロスの総量で世界17位とのデータもあります。

国内の食品ロス年間523万トンのうち、家庭から排出される食品ロスは244万トンと半数に近い数字です。このことから、私たちの日常生活でも食品ロス削減に協力できることが見えてきます。それは①余分に購入しない、②材料を使い切る、③食べ残しをしない、④使い切れない食品はフードバンク\*に持っていく、などが考えられます。家庭から排出される食品ロスを減らすだけでも大きな効果があります。食品を残さず使って食べ切りましょう。

※フードバンク：規格外や余った食品を受付け、福祉施設等へ配給する団体、または活動

(次号に続きます)



主要生活物資価格調査結果は、総務省統計局が実施している「小売物価統計調査」をご覧ください(<https://www.stat.go.jp/data/kouri/doukou/index.html>)



消費者庁イラスト集より